

一般社団法人 日本原子力学会  
第76回 標準委員会 (SC) 議事録

1 日時 2019年3月6日(水) 13:30~18:35

2 場所 5 東洋海事ビル D会議室

3 出席者(敬称略)

(出席委員) 越塚副委員長, 伊藤幹事, 井口, 上田, 牛尾, 尾崎, 河井, 木倉, 酒井, 清水, 竹山, 多田(審議案件の途中から出席), 谷口, 中井, 中牟田, 中村, 成宮, 萩原, 松井, 三宅, 山本(審議案件の途中から退席), 吉原(22名)

(欠席委員) 関村委員長(1名)

(代理委員) 武部和巳(日本原燃/大柿委員代理), 鈴木嘉章(原子力安全推進協会/システム安全専門部会幹事/岡本委員代理), 瀧上浩幸(日本電機工業会/多田委員代理), 高橋邦明(日本原子力研究開発機構/原子燃料サイクル専門部会副部会長/新堀委員代理)(4名)

(フェロー委員) 宮野(審議案件の途中から退席), 成合(2名)

(委員候補) 椋木敦(日揮)(1名)

(欠席常時参加者) 鈴木(1名)

(オブザーバ) なし

(説明者) 【レベル2 PRA 分科会】成宮副主査, 中村幹事, 村松委員, 【BWR 熱流動評価分科会】大川主査, 久保幹事, 【PLM 分科会】中川幹事, 松藤委員, 伊藤常時参加者, 【リスク専門部会】吉田委員, 【水化学管理分科会】北島幹事, 梅原委員, 【PRA 品質確保分科会】桐本主査, 藤崎常時参加者, 【シミュレーションの信頼性分科会】中田主査, 【リスク専門部会】桐本幹事, 【システム安全専門部会】鈴木幹事, 【基盤応用・廃炉技術専門会】萩原部会長, 【原子燃料サイクル専門部会】高橋副部会長, 【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】梅原幹事, 柏木委員, 【統合的安全性向上分科会】成宮主査, 倉本幹事, 【標準活動基本戦略タスク】伊藤主査, 三宅委員, 河井幹事(延べ25名)

(事務局) 中越, 田老, 谷井, 牧野(4名)

4 配布資料:

SC76-0 第76回標準委員会議事次第(案)

SC76-1 第75回標準委員会議事録(案)

SC76-2 人事について(標準委員会)

SC76-3 人事について(専門部会)

SC76-4 “ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順201X”標準改定原案に関する公衆審査結果について

SC76-5 “加圧水型原子炉二次系の水化学管理指針:201X”標準改定原案に関する公衆審査結果について

SC76-6 “統計的安全性評価の実施基準:201X”標準改定原案に関する決議投票結果について

- SC76-7-1 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）：201X” 標準改定原案に関する決議投票結果について
- SC76-7-1-1 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）：201X” 決議投票の結果に対するその後の対応について
- SC76-7-2 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）：201X” 標準改定原案に関する決議投票で受付けた意見への回答案について
- SC76-7-3 “原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）：20XX” 標準
- SC76-8-1 “BWR の核熱水力安定性評価基準：201X” の改定に関わる本報告
- SC76-8-2 “BWR の核熱水力安定性評価基準：201X” 改定原案（本報告用）
- SC76-9 “高経年化対策実施基準 201X（追補4）” 改定案の本報告
- SC76-10-1 “核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準：2017 “の転載許諾手続きに伴う修正
- SC76-10-2 “沸騰水型原子炉の水化学管理指針:2017”の転載許諾に関する活動状況について
- SC76-10-3 “加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針:2017”の転載許諾に関する活動状況について
- SC76-11 “原子力施設のリスク評価標準で共通に使用される用語の定義:201X”の修正について
- SC76-12 “原子力施設のリスク評価標準で共通に使用される用語の定義” 英訳版の発行について
- SC76-13-1 “シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン：2015（AESJ-SC-A008：2015）（本文）” 英訳版の発行について
- SC76-13-2 原子力学会標準 “シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン：2015” の参考訳（技術レポート）
- SC76-14-1 標準策定 5 ヶ年計画（リスク専門部会 2019 年度版）
- SC76-14-2 標準策定 5 ヶ年計画（システム安全専門部会 2019 年度版）
- SC76-14-3 標準策定 5 ヶ年計画（基盤応用・廃炉技術専門部会 2019 年度版）
- SC76-14-4 標準策定 5 ヶ年計画（原子燃料サイクル専門部会 2019 年度版）
- SC76-15-1 【中間報告】「浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法（案）」について
- SC76-15-2 「浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法（案）（概要）」
- SC76-15-3 「浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法（案）:20XX」
- SC76-16 “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：201X” 標準原案に関する決議投票にて受け付けた意見への回答
- SC76-17-1-1 標準活動基本戦略タスク 2018 年度第 4 回議事録
- SC76-17-1-2 2018 年度活動報告及び 2019 年度活動計画
- SC76-17-1-3 標準委員会活動全体計画(年間工程表)（2018 年・2019 年版）

- SC76-17-2 2019年度の標準委員会開催日について(案)
- SC76-17-3-1 原子力規制委員会における学協会規格の技術評価の実施にあたっての依頼文書
- SC76-17-3-2 原子力規制委員会における学協会規格の技術評価の実施にあたっての回答案
- SC76-17-4 (標準委員会・専門部会・分科会・作業会)委員就任同意書(案)
- SC76-17-5-1 “標準委員会規程改定案”に関する決議投票の結果について
- SC76-17-5-2 標準委員会規程類の制定の周知
- SC76-17-6 倫理規程等講習会の受講フォロー状況
- SC76-17-7 標準委員会の議事運営の改善方策について
- SC76-17-8 “標準策定5カ年計画の更新ガイドライン”改定の経緯と趣旨について
- SC76-17-9-1 「用語辞典2018」の標準委員会意見募集の結果について
- SC76-17-9-2 「用語辞典2018」の標準委員会意見募集への対応
- SC76-17-10 標準委員会の規程体系の整備スケジュール
- SC76-17-11 標準委員会活動5ヶ年計画の進捗
- SC76-17-12 学協会協議会及び基本戦略タスクでの学協会規格整備計画の検討状況(その29)
- SC76-17-13 標準委員の出席状況及び投票状況

#### 参考資料

- SC76-参考1 標準委員会委員名簿
- SC76-参考2 標準活動基本戦略タスク名簿

## 5 議事内容

事務局から開始の時点で委員(フェロー委員含め)28名中、27名の出席があり、委員会成立に必要な委員数(19名以上)を満足している旨、報告があった。なお、委員長欠席のため、標準委員会規程に則り、副委員長がその職務を代理する。

### (1) 前回議事録の確認(SC76-1)

前回議事録(案)について、配付された内容で承認された。

### (2) 人事について(SC75-2, SC75-3)

事務局からSC76-2, SC76-3に基づき、標準委員会及び専門部会の人事について以下の提案及び報告があった。

#### a. 標準委員会人事

- ① 理事会による専門部会長の委員承認の確認
  - 岡本 孝司(システム安全専門部会長/東京大学)
  - 萩原 剛(基盤応用・廃炉技術専門部会長/東芝エネルギーシステムズ)
- ② 理事会による委員再任承認の確認
  - 清水 直孝(日本原子力保険プール)
  - 越塚 誠一(東京大学)
  - 竹山 弘恭(中部電力)
- ③ 委員の退任の確認
  - 渡邊 宏(日揮)

- ④ 委員選任決議  
    棕木 敦 (日揮)
  - ⑤ 委員再任の決議  
    上田 真三 (三菱マテリアル)  
    酒井 俊朗 (電力中央研究所)  
    中村 武彦 (日本原子力研究開発機構)
  - ⑥ 委員所属変更の確認  
    三宅 修平  
        元：MHI ニュークリアシステムズ・ソリューションエンジニアリング  
        変更後：MHI NS エンジニアリング
- 理事会による専門部会長の委員承認等が確認され、審議の結果、委員の選任等が決議された。

b. リスク専門部会

- ① 委員再任決議の承認(決議)  
    益子 裕之 (原子燃料工業)  
    丸山 結 (日本原子力研究開発機構)  
    三村 聡 (東芝エネルギーシステムズ)
- 委員再任決議の承認が決議された。

c. システム安全専門部会

- ① 委員退任確認の確認  
    久宗 健志 (日本原子力発電)
  - ② 委員選任決議の承認(決議)  
    杉野 亘 (日本原子力発電)
  - ③ 委員再任決議の承認(決議)  
    鬼沢 邦雄 (日本原子力研究開発機構)  
    木藤 和明 (日立 GE ニュークリア・エナジー)  
    工藤 義朗 (電力中央研究所)
- 委員退任確認が確認され、審議の結果、委員選任決議の承認等が決議された。

d. 基盤応用・廃炉技術専門部会

- ① 委員退任確認の確認  
    岡本 孝司 (東京大学)  
    佐々木 学 (日本原子力発電)
  - ② 委員選任決議の承認(決議)  
    石川 顕一 (東京大学)  
    山本 祥司 (日本原子力発電)
- 委員退任確認が確認され、審議の結果、委員選任決議の承認が決議された。

e. 原子燃料サイクル専門部会

- ① 委員退任確認の確認

深澤 哲生（日立 GE ニュークリア・エネルギー）

② 委員選任決議の承認(決議)

浅野 隆（日立 GE ニュークリア・エネルギー）

③ 委員再任決議の承認(決議)

新堀 雄一（東北大学）

高橋 邦明（日本原子力研究開発機構）

坂下 章（三菱重工業）

藤田 智成（電力中央研究所）

山本 正史（原子力環境整備促進・資金管理センター）

委員退任確認が確認され、審議の結果、委員選任決議の承認等が決議された。

(3) 【報告・審議】

“ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順”標準改定原案に関する公衆審査結果について（SC76-4）

事務局から SC76-4 に基づき、題記の標準改定原案に関する公衆審査結果について、意見がなかったことについて報告があり、当該標準を制定することが決議された。

(4) 【報告・審議】

“加圧水型原子炉二次系の水化学管理指針:201X”標準改定原案に関する公衆審査結果について（SC76-5）

事務局から SC76-5 に基づき、題記の標準改定原案に関する公衆審査結果について、意見がなかったことについて報告があり、当該標準を制定することが決議された。

(5) 【報告】

“統計的安全評価の実施基準:201X”標準改定原案に関する決議投票結果について（SC76-6）

事務局から SC76-6 に基づき、題記の標準改定原案に関する標準委員会決議投票で可決されたことが報告された。決議投票で可決されたが、いただいたご意見に対する対応について、専門部会で慎重に議論していくため、ご意見への対応については次回以降の標準委員会で説明することが報告された。

(6) 【報告・審議】

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 2 PRA 編）:201X”標準改定原案に関する決議投票結果及び受付けた意見への回答案について（SC76-7-1, SC76-7-1-1, SC76-7-2, SC76-7-3）

事務局から SC76-7-1 に基づき、題記の標準改定原案に関する標準委員会決議投票の結果、2 票の“意見付き保留”があり、可決されなかったことが報告された。“意見付保留”については、前記 2 票以外に 2 票が“意見付保留”から“賛成”に変更があった旨補足説明があった。また、SC76-7-1-1 に基づき、投票後、分科会から“意見付保留”に対する修正案が示され、“意見付保留”を示された委員は“賛成”の意思表示をされたことの報告がされた。その後、レベル 2 PRA 分科会 成宮副主査、中村幹事、村松委員から、SC76-7-2, SC76-7-3 に基づき、受付けた意見への回答（修正案）について説明があり、審議の結果“意見付保留”及び“賛成に伴うコメント”に対する修正案につい

ては、編集上の修正に該当する箇所が含まれるかどうかを、審議細則に基づき2週間の期間で2回目の投票を行うことが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q: 概要に“誤記ガイドラインに沿って”と書かれているが、本ガイドラインは発刊された標準に対して誤記をチェックするためのガイドラインであるため、審議細則の4つの判断基準により文意の変更を伴う変更かどうかを判断する必要がある。

A: 拝承。記載を見直す。判定結果そのものは変更を生じないと考えられる。

Q: 4か所の規定変更と判断された箇所はどのように扱うか。

A (事務局): 審議細則によると反対意見又は保留意見の解消の結果提案された標準の変更があった場合、編集上の修正を除く場合は委員全員に通知し、2週間の2回目の書面投票を行うと記載がある。

Q: 2回目の書面投票が可決されたら公衆審査委に移るのか。

A (事務局): 標準委員会の三役に最終判断を頂くことを考えている。

C: 分科会及び専門部会から提案があった編集上の修正ではないという箇所を含めて、コメント対応全体を2回目の投票範囲とする。

#### (7) 【報告・審議】

“BWRの核熱水力安定性評価基準:201X”の改定に関わる本報告(SC76-8-1, SC76-8-2)

BWR熱流動評価分科会 大川主査, 久保幹事からSC76-8-1, SC76-8-2に基づき、題記の改定について本報告があった。審議の結果、当該標準改定原案を30日間の標準委員会決議投票に移行することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q: 資料SC76-8-1の“5. 関係団体との調整の必要性”に、“JEAC4211-2018では運転上の設計基準を評価項目としていないため調整不要”旨、書いているが、“この標準とJEAC4211-2018で核熱水力安定性に関して採用している基準が同じであるため調整不要”ではないのか?

A: 限界基準である減幅比1未満のみを採用しているという点は同じであるので、そう言える。

Q: システム安全専門部会での決議で議論になったものはあったか?

A: “ATWS”の訳語が2011年度版“リスク評価の用語の定義”と異なっている点があり用語辞典と整合しないので調整を図ることと、多次元動特性、2流体モデル、将来的な最適評価コードなどの位置付けに関し、議論があった。

#### (8) 【報告・審議】

“高経年化対策実施基準201X(追補4)”案の本報告(SC76-9)

PLM分科会 中川幹事, 松藤委員, 伊藤常時参加者からSC76-9に基づき、題記の案について本報告があった。審議の結果、当該標準改定原案を30日間の標準委員会決議投票に移行することが決議された。

質疑では、本標準の追補による改定は、ほぼ毎年行っていることが確認された。

#### (9) 【報告・審議】

転載許諾手続に伴う修正について(SC76-10-1~SC76-10-3)

リスク専門部会 吉田委員から SC76-10-1 に基づき，“核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準：2017”，水化学管理分科会 北島幹事，梅原委員から SC76-10-2 ， SC76-10-3 に基づき，“沸騰水型原子炉の水化学管理指針：2017”及び“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：2017”の転載許諾手続に伴う修正（転載許諾が得られないための記載内容変更等）について報告があった。審議した結果，3 案件とも編集上の修正であるとの判断で，一部修正を行い当該基準・指針を発行手続きに進むことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

“核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準：2017” 関連

Q：転載許諾を得やすい類似の参考文献は他にないのか？

A：著者によれば，他に同種の論文はあるが当該論文が最適とのことで，この図を掲載した。

Q：再確認するが，標準本文には影響はないのか。

A：その通りである。

“沸騰水型原子炉の水化学管理指針：2017” 関連

Q：オリジナルが確認できなかったという文献(12)とはどのような文献か？

A：GE オリジナル文献であり，入手困難で文献記載内容を確認できなかった。

“加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針：2017” 関連

Q：WH 社の文献に入手先の URL をわざわざ記載している理由は？

A：1960 年代の文献であり，紙ベースでは入手困難と判断したため，標準の使用者の利便性を考慮して，入手先を記載した。

C：解説図 25 を削除して，引用に変えた箇所の文章で，一部表記の乱れ（統一されていない箇所）が見受けられる。

A：“Cowan の文献による”と“しきい値は”のように，記載を変更（“と”を追記）して，記載を他の箇所と統一する。

#### (10) 【報告・審議】

“原子力施設のリスク評価標準で共通に使用される用語の定義”の修正について (SC76-11)

PRA 品質確保分科会 桐本主査，藤崎常時参加者から SC76-11 に基づき，題記の修正について報告があった。審議した結果，編集上の修正であるとの判断で，当該用語の定義を発行手続きに進むことが決議された。

#### (11) 【報告・審議】

“原子力施設のリスク評価標準で共通に使用される用語の定義”英訳版の発行について (SC76-12)

PRA 品質確保分科会 桐本主査，藤崎常時参加者から SC76-12 に基づき，題記の英訳版の発行について説明があった。審議した結果，技術レポートとして当該用語の定義英訳版を発行・販売することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：米国に無断で使用されることは無いか？

A：JCNRM とは著作権保護に係る契約を締結しており，無許可での使用が無いように，資料に措置を行った上で技術交換を行う。

C：発行前に JCNRM へ資料提供する際は，無断で使用されないように細心の注意を払うこと。

(12) 【報告・審議】

“シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン：2015 (AESJ-SC-A008 : 2015) (本文)” 英訳版の発行について (SC76-13-1, SC76-13-2)

シミュレーションの信頼性分科会 中田主査から SC76-13, SC76-13-2 に基づき、題記の英訳版の発行について報告があった。審議した結果、当該技術レポートとして標準委員会で 30 日間の意見募集することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C: 英訳版は標準ではない。これは過去の審議で明確になっている。英訳版は技術レポートに過ぎない。

C: 標準委員会の規定では、技術レポートを発行するときは委員からの意見募集を行うことになっている。英語の技術レポートもこれに従うべきである。

C: 英訳版の発行の目的は、著作権を確保することにある。そのために技術レポートとして発行する必要がある。

Q: 用語集は適切か。設計図を basic design と訳してある。

A: 内容に沿うように意識を行った。用語は、シミュレーション分野に合わせて作成した。

C: 意見募集の際には、日本語版も添付すること。

(13) 【報告・審議】

標準策定 5 ヶ年計画(2019 年度版)について(SC75-14-1, SC75-14-2, SC75-14-3, SC76-14-4)

各専門部会から SC75-14-1, SC75-14-2, SC75-14-3, SC76-14-4 に基づき、題記に関する報告があり、リスク専門部会国内外の関連動向の記載については、修正することを条件として 4 専門部会の 5 ヶ年計画が承認された。また、当該 5 ヶ年計画を 30 日間の意見募集をすることとなった。

(14) 【報告】

“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法” 標準原案に関する中間報告 (SC76-15-1~SC76-15-3)

LLW 廃棄体等製作・管理分科会 梅原幹事、柏木委員から SC76-15-1~SC76-15-3 に基づき、題記の標準原案に関する中間報告があり、当該標準原案を標準委員会で 30 日間の意見募集することとなった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q: 標準ドラフトの序文では、性能規定化に関する記載が無いように見受けられる。

A: 現状、NRA から提示されているのは骨子案の段階なので、正式に制定された段階で扱いについては考慮する。

Q: 廃棄体における劣化概念は標準に取り込まれているのか？

A: 埋設に関する JNFL の安全審査の状況を確認しつつ、必要な情報は取り入れる考えでいる。

(15) 【報告】

“原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準:201X” 標準原案に関する決議投票にて受け付けた意見への回答 (SC76-16)

統合的安全性向上分科会 成宮主査、倉本幹事から SC76-16 に基づき、題記の標準原案に関する決議投票にて受け付けた意見の回答について報告があった。システム安全専

門部会及びリスク専門部会にて結論を出してから、その後の対応を標準委員会三役で判断することとなった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q: 専門部会三役での確認による判断はまだ終了していないということか？

A: 現在確認をいただいているところでまだ判断は頂いていない。

Q: 三役での判断終了後に専門部会委員でのメールでの確認を行って、その後に標準委員会でのメール審議を行うという提案か？

A: そのように進めさせていただきたいという提案である。

Q: 可決された原案から修正点が多いこともあり、編集上の修正か否かに拘らず、再投票ということも考えられるのではないか？

A: 再投票とするかどうかは標準委員会の判断に従うが、修正点の多寡ではなく編集上の修正であるというのが分科会の提案である。

C: 現在は、編集上の修正か否かを専門部会にて判断を行っているところであり、その決定を受けて標準委員会においても判断をしていくことになるのではないか。専門部会もしくは標準委員会において、編集上の修正ではないという判断となれば、2回目の投票に移ることになる。

C: システム安全専門部会及びリスク専門部会での結論を受けて、標準委員会でのメール審議に進むかといったその後の対応につき、標準委員会三役で判断する。

#### (16) 標準活動基本戦略タスクの活動

##### (16-1) 【報告】

標準活動基本戦略タスクの報告と論点 (SC76-17-1-1, SC76-17-1-2, SC76-17-1-3)

標準活動基本戦略タスク 伊藤主査から SC76-17-1-1, SC76-17-1-2, SC76-17-1-3 に基づき、標準活動基本戦略タスクの報告と論点について説明があった。(標準活動基本戦略タスク 2018 年度第 4 回議事, 標準委員会 2018 年度活動報告及び 2019 年度活動計画, 標準委員会活動全体計画(年間工程表) (2018 年・2019 年版))

##### (16-2) 【報告】 2019 年度の標準委員会開催日について (案) (SC76-17-2)

事務局から SC76-17-2 に基づき、2019 年度標準委員会開催予定日 (6/5(水), 9/4(水), 12/4(水), 3/4(水)) について説明があった。

##### (16-3) 【報告・審議】

規制庁からの依頼文書及びその回答について (SC76-17-3-1, SC76-17-3-2)

事務局から SC76-17-3-1, SC76-17-3-2 に基づき、題記について説明があった。平成 31 年 1 月 16 日付けで規制庁から 3 学協会に対して、原子力規制委員会における学協会規格の技術評価の実施に当たって、原子力規制委員会が現在行っている又は将来行う予定の技術評価に必要となる、規格の規定に関する技術的根拠や規格の規定する要求事項を決定した際の判断理由の資料等の提出依頼があり、回答を 3 学協会で調整中との報告があり、ご意見がある場合は、事務局に連絡することとなった。

##### (16-4) 【報告・審議】

(標準委員会・専門部会・分科会・作業会) 委員就任同意書 (案) (SC76-17-4)

事務局から SC76-17-4 に基づき、標準委員会・専門部会・分科会・作業会の委員就任同意書を、新任者を含めた全員に対してお願いすることについて提案があった。反対意見はなく、進めていくこととなった。また、ご意見がある場合は事務局に連絡することとなった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q: この同意書は標準委員会だけなのか、原子力学会の他の委員会も運用するのか？

A: 標準委員会（専門部会・分科会・作業会含む）の範囲内で考えている。

C: 公平・公正・公開に見直した方が良いのでは。

A: 記載内容は見直していく。

C: これは自分達で課した同意書なのか。位置付けは？

A: 基本戦略タスクの中で議論し、作成した案を提示させていただいた。

#### (16-5) 【報告】

標準委員会規程改定案に関する決議投票結果、及び規程類の制定の周知 (SC76-17-5-1, SC76-17-5-2)

標準活動基本戦略タスク 鈴木委員から SC76-17-5-1 に基づき、”標準委員会規程改定案に関する決議投票結果”について全員賛成で可決された旨の報告があった。また、SC76-17-5-2 に基づき、“規程類の制定の周知”について報告があった。

#### (16-6) 【報告】

倫理規程等講習会の受講フォロー状況について (SC76-17-6)

標準活動基本戦略タスク 三宅委員から SC76-17-6 に基づき、題記について報告があった。また、6月の標準委員会で倫理に関する講習会を行うとの説明があった。

#### (16-7) 【報告・審議】

標準委員会の議事運営の改善方策について (SC76-17-7)

標準活動基本戦略タスク 河井幹事から SC76-17-7 に基づき、題記について説明があり、当該改善方策を標準委員会で30日間の意見募集することとなった。

#### (16-8) 【報告・審議】

標準策定5カ年計画の更新ガイドラインの改定案 (SC76-17-8)

標準活動基本戦略タスク 河井幹事から SC76-17-8 に基づき、題記の改定案について説明があり、当該改定案を標準委員会で30日間の意見募集することとなった。

#### (16-9) 【報告・審議】

「用語辞典2018」の標準委員会意見募集への対応 (SC76-17-9-1, SC76-17-9-2)

標準活動基本戦略タスク 河井幹事から SC76-17-9-1, SC76-17-9-2 に基づき、題記について説明があった。意見募集の結果、2名の委員から意見が出され、回答案で了承が得られたことが報告された。審議の結果、当該用語辞典を制定することが決議された。

(16-10) 【報告】 規程体系の整備の進捗について (SC76-17-10)

(16-11) 【報告】 標準委員会活動5ヶ年計画の進捗について (SC76-17-11)

(16-12) 【報告】 3 学協会での学協会規格整備計画と標準委員会の対応（電事連との規格類意見交換会を含む）(SC76-17-12)

標準活動基本戦略タスク 河井幹事から SC76-17-10 に基づき，” 規程体系の整備の進捗”， SC76-17-11 に基づき，” 標準委員会活動 5 ヶ年計画の進捗”， 及び SC76-17-12 に基づき，” 3 学協会での学協会規格整備計画と標準委員会の対応”について説明があった。

6 その他(次回日程)

次回は 2019 年 6 月 5 日(水) 10:00～

以 上